

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

木枯らしが吹きすさぶころとなり、あわただしい

師走は何かとご多用のことと存じます。北方領土返還問題においては元島民の悲願である4島一括返還が叶うようにと心よりお祈り申し上げます。今年は皆様方にとって良い年でしたでしょうか。私達サンライズの職員にとって新たな出会いと別れを繰り返しておりましたが、とても良い年だったと思います。

来年もご指導賜りたいと存じます。

サンライズの物語

「癌に負けず、家族にも迷惑をかけず」

家族を想い、力強く生ききったお人柄を想う物語。

その方は自営業を営んでおり、子供様3人が後継者として支えている方でした。

突然癌に罹患して免疫療法を行っていた時に会いました。

その方の口癖は「まだ、まだ遣り残した仕事がある。癌に負けてられない」

そして、ご家族のことを常に心配されておりました。

一代で築いた方だけあって、とてもお話の上手なユーモアのセンスがある魅力的で人をひきつける人でした。

自宅で訪問診療、訪問看護等のサービスを利用されていましたが、癌が股関節に転移してしまい激痛に襲われ入院してしまったのです。

そんな折、娘さんから一度は自宅へ戻したいとの相談があり、ともかく体調の良い時期に退院する予定となったのも束の間、今後は頭と腕に癌が転移してしまったのです。

娘さんが何日でも自宅へ戻ろうと本人に言ってもご本人が「帰ると家族に負担が掛かる」と言い厳として受け入れないとの連絡がありました。

娘さんからの要望で入院中も自費で訪問マッサージを利用したいとの事で手配致しましたが、担当者の方が実に丁寧にマッサージをしてくれ助かっているとの連絡を貰い、天国へ旅立たれる当日も訪問マッサージの方が施術を終わると息を引き取ったとの事。

自宅へお悔やみに訪問すると素敵なお顔で眠っているようでした。

最後までご家族を想い優しさに溢れたお人柄が偲ばれ涙が零れました。心に残る出会いに感謝致します。



「介護に役立つ リハビリ・マジック」

東京堂出版 著者：麦谷 真里

元厚生労働省官僚が書いた、リハビリテーションのためのマジック入門書。輪ゴムやロープ、ボールなど、身近なものを使い、マジックを楽しみながら運動能力や判断力、コミュニケーションを回復へ導くマジックが紹介されています。マジックのタネだけではなく、リハビリ機能として、どのような効果があるかも詳しく解説されています。



NEWS 今月のニュース

卓球専門のデイサービス 楽しみながら機能回復

卓球を楽しめることをウリにした通所介護事業所が、オープンから1年を迎える。「ピンポンデイハッピー渋谷」（神奈川県大和市）は卓球台を3台備える卓球の専門施設。要介護高齢者の機能回復に役立っているほか、近所の人気が軽に入れる敷居の低さが好評だ。

運営する「介護のハッピー合同会社」の石井直樹代表のモットーは「自分が行きたいハッピーなデイサービスをつくろう」。2012年9月、同市内で開設し、二つ目の事業所として15年12月1日、定員10人の小規模な「ハッピー渋谷」を開いた。

最も卓球にはまっているのは

伊藤文治さん（67）。15年10月に脳梗塞になり、右半身にまひが残った。要介護2と認定され、リハビリ中心の施設に通ったが、すぐに飽きた。

今年3月から「ハッピー渋谷」に通い始めた。そのころは杖を突いて歩いていたが、今では自立歩行が可能に。「ピンポン球に合わせて身体を左右に動かすのは無理だが、球拾いするだけでもいい運動になる」と笑う。

「ハッピー渋谷」は、卓球用品メーカー(株)タマスと提携し、練習用の機械も導入した。14年設立の日本卓球療法協会（相模原市、長淵晃二理事長）が初めて認定した施設で、来春、同協会独自の「卓球療法士初級講習」の会場に

もなる。

通所する高齢者のラリーの回数や握力などを測定して機能回復につなげると同時に、地域の寄所的な存在も目指すところだ。

平日の夜や日曜日は近所の人に参加できる「練習会」を開催。その親しみやすさが伝わり、水彩画の得意な人など多種多彩な人がボランティアとして集まる「地域共生のハブ」（菅原直敏施設長）にもなっている。



<福祉新聞 2016年12月1日(木)>



今月の名言

よりあつまって形を作り、捻れて絡まって、時には戻って、途切れ、またつながり。それが組紐。それが時間。それがムスビ。

宮水一葉（映画「君の名は。」）

いま話題沸騰中の映画、「君の名は。」から抜き出した一言。人とのつながりは、まるで糸が寄り合うように常に形が変わります。今この瞬間のつながりはまさしく奇跡の産物と考えさせられます。

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>